

# JAPANブランドで沖縄からアジアへ! 「第2回 沖縄大交易会」併催事業



オープニングセレモニー

## 日本のおいしいものの展

(株)沖縄県物産公社と沖縄総合事務局経済産業部は、全国の優れた地域ブランド商品（地域団体商標登録商品など）やふるさと名物約80品目を集め、展示・商談を行う「日本のおいしいもの展」を沖縄大交易会会場において開催しました。2日間で海外・国内から延べ165社のバイヤーが来場し、商談を行いました。

今回、JAPANブランドを求める海外バイヤーに対し、「3県フルーツセット」「日本のお茶セット」「プレミアムジュースセット（青森県産りんご、岩手県産ぶどう、愛媛県産みかん、石垣島産パイナップル」といった複数産地の特産品を組み合わせてパッケージングしたセット商品を提案しました。

かつての沖縄が琉球王国として、その地理的優位性を活かし、アジアにおける海洋国家として繁栄していたように、今日でも、急速に発展するアジアマーケットと日本を繋ぐ「アジアゲートウェイ」としての沖縄国際物流ハブの機能強化が、官民一体となって推進されています。この取組の一環として、日本最大規模の国際食品商談会「第2回沖縄大交易会」が平成27年11月26日・27日の2日間、沖縄コンベンションセンターにおいて開催されました。本交易会では、日本全国から200社（県外企業142社、県内企業58社）のサプライヤー、国内外のバイヤー168社（海外114社、国内54社）が参加し、個別商談会では約1900件の商談会が行われました。

沖縄総合事務局では、併催事業として以下のイベントを同時開催しました。



200 ブースの商談会会場



「日本のおいしいもの展」島尻内閣府沖縄担当大臣、翁長沖縄県知事が視察



全国各地の名産物のセット商品

セット商品を販売することで、特  
定の付加価値を高め、県産品の  
知名度向上につなげる狙いがあり  
ます。海外バイヤーからは、「沖縄  
でのギフト化が可能であれば取引  
の選択肢が広がる」「パッケージす  
ることで商品の魅力が高まる」な  
ど、アジアマーケットでのセット



「日本のおいしいもの展」商品 MAP

本会議には、中小企業庁や各経  
済産業局、自治体などが参加し、  
それぞれが取り組む海外展開につ  
いての発表や意見交換を行いました。  
また、「沖縄大交易会」や「日  
本のおいしいもの展」の視察、那  
霸空港貨物ターミナルビル、大型  
クルーズ旅客船バースの見学を行  
い、沖縄の国際物流ハブ拠点とし  
ての可能性や新たな輸送モデルに  
ついて理解を深めました。

当局では、アジアビジネスに取  
り組む企業をサポートする産学金  
官ネットワーク「沖縄国際ハブク  
ラスター」を構築しており、地域  
連携によるアジア市場展開の方策  
の検討を目的とした「第3回アジ  
アビジネス戦略連携会議」を開催  
しました。

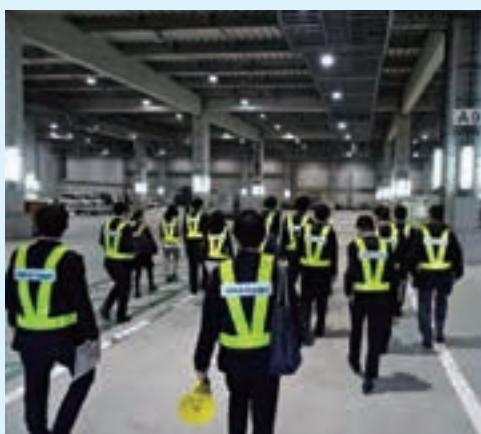
### 第3回アジアビジネス戦略 連携会議

商品の可能性の高さがうかがえま  
した。一方で「価格別・年齢別・  
購買層別にもっと工夫してほしい」  
、「健康志向のニーズに対応し  
たセット商品がほしい」といった  
意見もありました。

今回の「日本のおいしいもの展」  
を通して得られた海外バイヤーの  
意見を踏まえつつ、今回の取組を  
通じてセット商品の定番化や新た  
な市場開拓に繋がることが期待さ  
れます。

結びに

当局は、沖縄の強みである「沖  
縄力」をいかし、交易・交流拠点  
としての機能強化と更なる発展を  
遂げるべく、今後も積極的に取り  
組んで参ります。



ANA 貨物ターミナル見学



第3回アジアビジネス戦略連携会議